

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者各位

記者発表資料  
平成20年7月7日  
病院経営局経営経理課長  
五十嵐 誠一 TEL333-8723

# 平成19年度 横浜市病院事業会計決算概要 【速報】



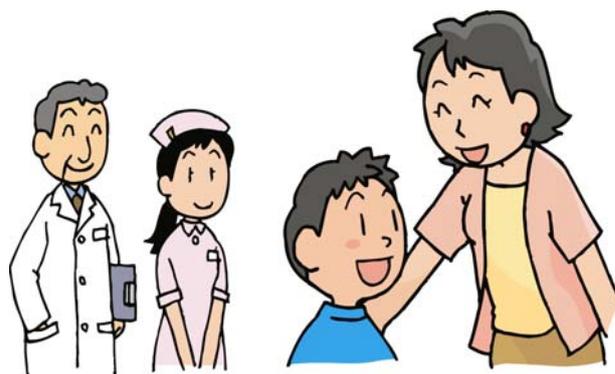
市民病院



みなと赤十字病院



脳血管医療センター



この資料は、平成19年度病院事業会計決算(速報値)の概要をまとめたものです。  
なお、決算については、監査委員の審査を経て、第3回市会定例会に上程することとなります。

## 横浜市病院経営局

## はじめに

19年度は、「**横浜市立病院経営改革計画**(平成17～20年度)」に基づき、「**医療の質の向上**」と「**経営改善**」の両面から**経営改革を推進**しました。

計画の実施状況については、毎年度、自主的な点検評価を行っていますが、全体で104項目からなる計画目標に対して、**19年度までに約9割の項目が計画どおり進んでいます**。

(参考 <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/keikaku.html> )

20年度は計画の最終年度で、目標達成に向けた総仕上げの段階であり、更なる経営改善に努めていくとともに、総務省から通知された「**公立病院改革ガイドライン**」も踏まえた**新たな計画を策定します**。

## 平成19年度病院事業会計の決算状況

**病院事業会計全体**で、一般会計繰入金を縮減(昨年度に対し約4.3億円の減)したうえで、経常収支(通常の病院運営に伴う収支)において約3.2億円の改善を図り、**実質的に約7.5億円の改善**となりました。

- ❁ **市民病院においては**、引き続き収支改善に努め、**5年連続で経常収支黒字を達成**することができました。
- ❁ **脳血管医療センターでは**、医師の確保を進め入院患者数の増加に努めたことや、介護老人保健施設において指定管理者制度の導入を図るなど取り組みましたが、**昨年度並みの収支**となりました。
- ❁ **みなと赤十字病院では**、全病床開床(634床)に伴い、19年度は「**指定管理者負担金(※)**」の徴収を開始したことで、経常収支の改善、繰入金の縮減が図られ、**実質約6.4億円の収支改善**となりました。

(※) 同規模の建物を指定管理者が建設した場合の標準的な減価償却費相当額。

### 【経常収支の状況】

(単位 百万円)

	19年度	18年度	増△減	コメント
病院事業会計	△2,806	△3,124	318	昨年度に対して <b>実質7.5億円の改善</b> となりました。
一般会計繰入金	4,729	5,156	△427	
市民病院	38	12	26	<b>5年連続で経常収支黒字を達成</b> できました。
一般会計繰入金	1,418	1,455	△37	
脳血管医療センター	△1,285	△1,277	△8	収支改善などに取り組みましたが、 <b>昨年度並みの収支</b> となっています。
一般会計繰入金	2,349	2,404	△55	
みなと赤十字病院	△1,559	△1,859	300	全病床開床(634床)に伴い、 <b>指定管理者負担金を徴収</b> しました。
一般会計繰入金	962	1,297	△335	

(注) みなと赤十字病院は日本赤十字社を指定管理者としており、経常収支については、病院運営による診療報酬等の収入額と同額を指定管理者に交付することとしており、経常収支の赤字額は、現金の支出を伴わない減価償却費等により生じる仕組みとなっています。

## 患者数や診療単価などの状況

- ✿ **市民病院**では高い病床利用率を維持している中で、**地域医療機関との連携を進め**、病床の効率的な運用を図っています。
- ✿ **脳血管医療センター**では、**医師の確保を進めたほか、回復期リハビリテーション病棟の拡大**等を図り、入院患者数及び診療単価が増加しました。
- ✿ **みなと赤十字病院**では、開院後3年を経過し、着実に入院患者数が増加しています。また、**19年5月に精神科病床(50床)をオープン**しました。
- ✿ **各病院とも救急患者の積極的な受け入れを進め**、市立病院としての先導的な役割を果たしています。

### 【患者数の状況】

	19年度	18年度	増△減	増減率
<b>3病院合計</b>				
入院患者延べ数	462,400人	444,027人	18,373人	4.1%
病床利用率	84.4%	82.0%	2.4%	-
入院診療単価	46,034円	44,598円	1,436円	3.2%
外来患者延べ数	599,053人	613,016人	△13,963人	△2.3%
(1日あたり)	2,445人	2,502人	△57人	△2.3%
救急患者数	46,128人	47,467人	△1,339人	△2.8%
<b>市民病院(626床) ※一般病床600床、感染症病床26床</b>				
入院患者延べ数	202,333人	200,930人	1,403人	0.7%
病床利用率	92.1%	91.7%	0.4%	-
入院診療単価	46,014円	44,455円	1,559円	3.5%
外来患者延べ数	321,933人	327,387人	△5,454人	△1.7%
(1日あたり)	1,314人	1,336人	△22人	△1.6%
救急患者数	19,933人	21,208人	△1,275人	△6.0%
<b>脳血管医療センター(300床)</b>				
入院患者延べ数	83,096人	74,270人	8,826人	11.9%
病床利用率	75.7%	67.8%	7.9%	-
入院診療単価	32,535円	30,646円	1,889円	6.2%
外来患者延べ数	29,263人	31,558人	△2,295人	△7.3%
(1日あたり)	119人	129人	△10人	△7.8%
救急患者数	1,309人	1,324人	△15人	△1.1%
<b>みなと赤十字病院(634床) ※一般病床584床、精神科病床50床</b>				
入院患者延べ数	176,971人	168,827人	8,144人	4.8%
(精神科病床の患者除く)	(173,035人)	(168,827人)	(4,208人)	(2.5%)
病床利用率	81.0%	79.2%	1.8%	-
入院診療単価	52,394円	50,906円	1,488円	2.9%
外来患者延べ数	247,857人	254,071人	△6,214人	△2.4%
(1日あたり)	1,012人	1,037人	△25人	△2.4%
救急患者数	24,886人	24,935人	△49人	△0.2%

※ みなと赤十字病院の精神科病床50床は、平成19年5月に開床。

※ 病床利用率について、市民病院は感染症病床(26床)を、みなと赤十字病院は精神科病床(50床)を除いて算定しています。

## 19年度の主な取組

### 市民病院

地域に必要とされる政策的医療を提供するとともに、がん診療機能の強化など地域医療全体の質向上に資するための先導的な役割を果たしています。



保土ヶ谷区岡沢町56番

#### ◇がん診療機能の強化

##### ① PET-CT の導入

1回の検査で、多くの部位を検査できるとともに、より正確な診断が可能となるPET-CTを導入し、がん診断機能の向上を図りました。また、がん検診にも活用しています(20年3月)。

【購入額】 約2億2千万円

##### ② 緩和ケア病棟の整備

がん患者さんの療養環境向上のための**緩和ケア病棟の整備に向けた実施設計を行いました**。(21年3月開床予定、病床数20床)

【緩和ケアチームの取組】 専門の医師や看護師、薬剤師等がチームを組んで、がんの身体的症状や精神症状に関する診療を行っています。

#### ◇地域医療連携の推進

市民病院を退院(転院)後の治療を担う複数の専門病院等との間で、**診療計画(地域連携パス)を作成し**、機能・役割に応じた医療提供体制の整備を図りました。

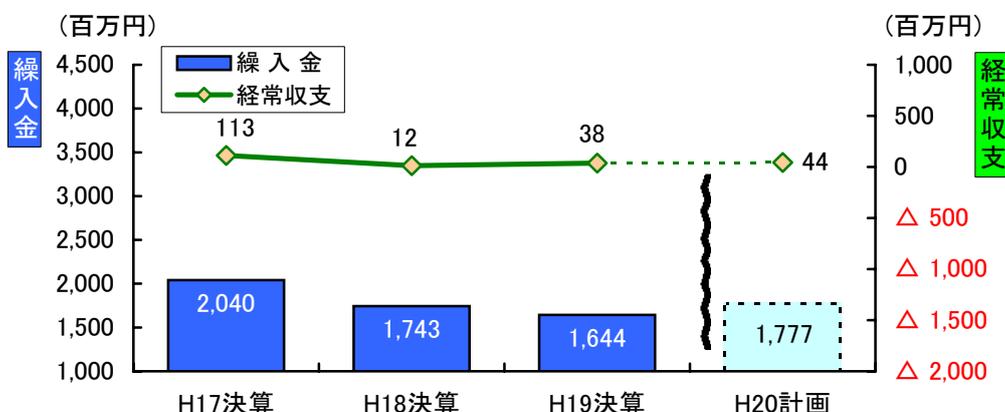
【地域医療連携の取組】 地域医療支援病院として医療機関の機能分担の推進、医療機器等の共同利用を進めていくための登録医制度の拡充に努めています。

	19年度	18年度	増減
紹介率	68.5%	63.7%	4.8%
逆紹介率	47.8%	41.0%	6.8%
登録医数	232人	55人	177人

#### ◇「横浜市立病院経営改革計画」における中期収支計画の達成状況

##### 【計画目標】

繰入金の見直しにより一般会計負担の削減を図りつつ、**経常収支の均衡**を維持します。



## 脳血管医療センター

脳血管疾患の専門病院として、救急患者を受け入れ、内科的・外科的治療を行うとともに、発症直後の早期から回復期まで一貫したリハビリテーションを行っています。



磯子区滝頭一丁目2番1号

### ◇介護老人保健施設への指定管理者制度の導入

利用者のサービス向上と経営改善を図るため、**直営から指定管理者による運営に移行しました**（19年4月）。また、通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーションの定員を12名から25名に改め（20年1月）、サービスの向上を図りました。

		19年度	18年度	増減
介護老人保健施設	入所者数	26,151人	22,116人	4,035人
	通所者数	3,149人	1,849人	1,300人

### ◇回復期リハビリテーションの拡大

回復期リハビリテーション病棟において、平日に加えて**土曜日にもリハビリテーションを開始**しました（19年7月）。また、その後、2病棟に拡大しました（10月）。

【回復期リハビリテーション病棟】 東5階病棟46床、西5階病棟45床の合計91床

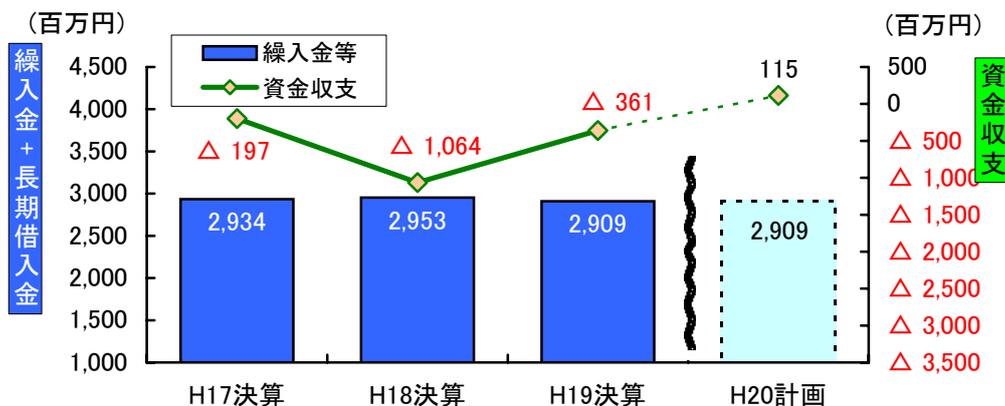
### ◇脳卒中予防の充実

市民の関心が高く、充実が強く求められている脳卒中予防について、**再発予防講座開催や予防啓発のDVD製作・配布**など、さまざまな機会を通じて取り組みました。

### ◇「横浜市立病院経営改革計画」における中期収支計画の達成状況

#### 【計画目標】

長期借入金を含めた16年度の一般会計負担額の範囲内で、**資金収支の均衡**を目指します。



(注) 平成18年度の資金収支は、一般会計からの長期借入金6億8,600万円（16年度借入）を返済したことなどにより、△10億6,400万円となっています。

## みなと赤十字病院

アレルギー疾患医療や精神科医療等、政策的に必要な医療を提供するとともに、市立病院として地域医療全体の質向上のための先導的な取組を行っています。

<日本赤十字社を指定管理者とした公設民営方式による運営>



中区新山下三丁目12番1号

### ◇アレルギー専門医療機関の指定

科学的根拠に基づく診療と地域医療機関等への情報提供を行うための専門医療機関として指定を受けました(19年4月)。

#### 【アレルギー疾患医療への取組】

- ・花粉、粉塵、気象観測装置を使用した市民への情報提供
- ・ぜん息患者さんへの携帯電話を活用した遠隔医療の研究



### ◇精神科病床の開床

精神科病床を50床開床(19年5月)するとともに、精神科合併症医療(6月)、精神科救急医療(10月)を開始しました。

### ◇院内助産の推進

妊産婦さんの出産ニーズの多様化に応じていくために、助産師が主体的に外来健診や分べん介助に関わる「院内助産」を推進しています。

【院内助産分べん件数】 19年度実績 32件

## 病院事業全体

市民・患者さんの視点に立ち、安心・安全で満足・納得が得られる良質な医療サービスを効率的に提供しています。

### ◇情報化の推進【市民病院・脳血管医療センター】

医療における安全管理など医療の質と患者サービスの向上を図るとともに、効率的な病院経営を実現するために、電子カルテを中心とした診療情報システムの構築を進め、20年1月からは入院診療部門への導入を図りました。

### ◇看護師確保に向けた取組の推進【市民病院・脳血管医療センター】

全国的な看護師不足の中で、看護師確保業務を担当する係長職(看護職)を配置し、病院見学会の開催、看護学校訪問、地方採用試験の開催等を積極的に進めました。

#### 【看護師確保の取組】

- ・採用試験の開催(市内 11回、地方 3回)
- ・病院見学会(7回)
- ・就職説明会への参加(10回) など

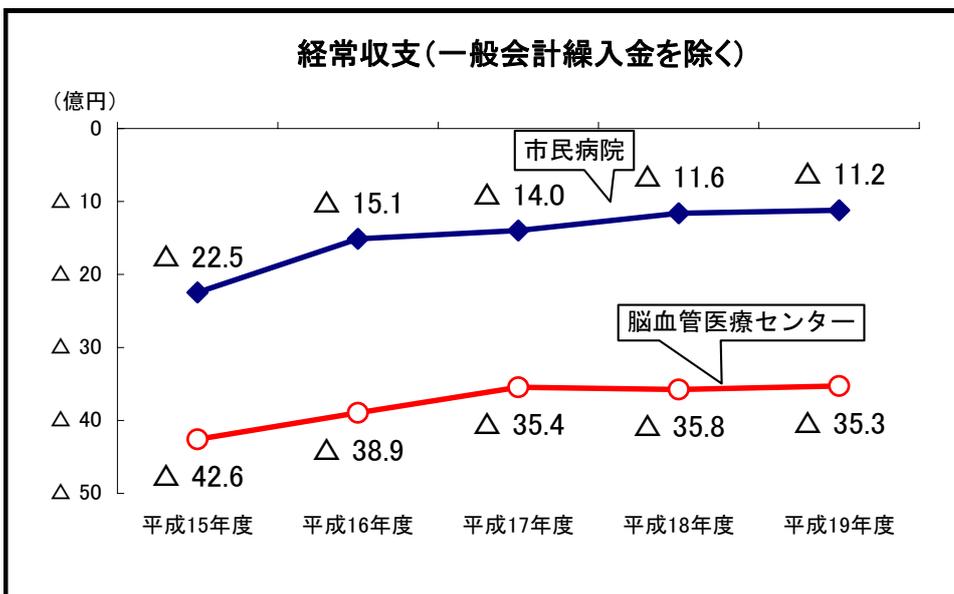
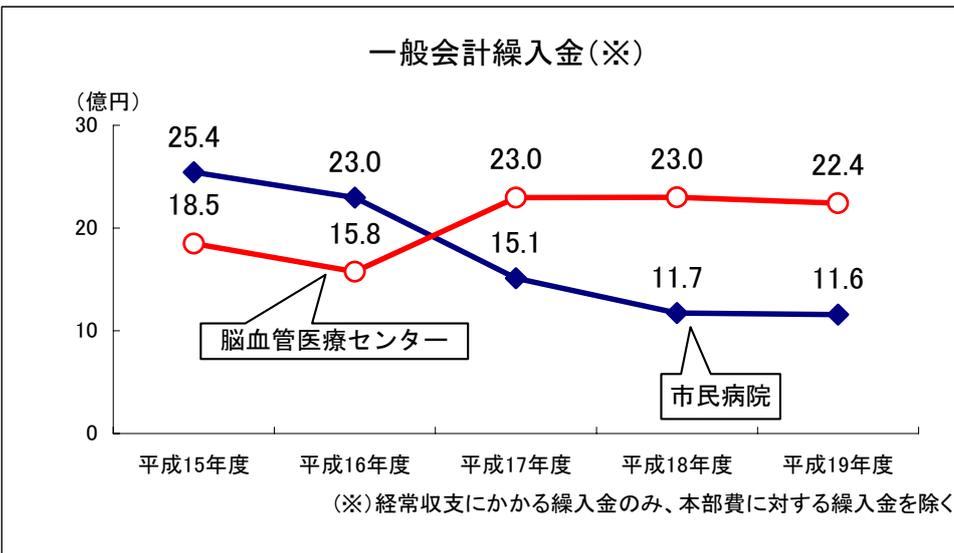
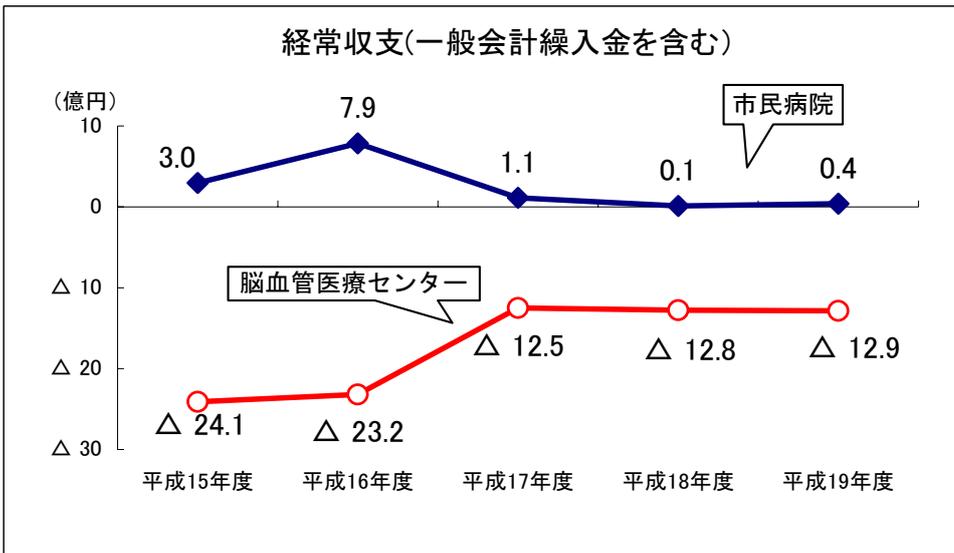
19年度末 看護師数	市民	489人
	脳血管	231人
	計	720人

### ◇市民啓発の促進【市民病院・脳血管医療センター・みなと赤十字病院】

各病院等において市民公開講座等を開催し、疾病予防・健康づくり活動を展開しました。

	開催月	場所	テーマ
市民病院	20年1月	関内ホール	がん診療におけるPETの有用性、放射線治療
脳血管医療センター	20年2月	関内ホール	「脳卒中に負けないために」
みなと赤十字病院	19年6月	開港記念会館	「アレルギー疾患を克服するために」
病院経営局	19年9月	パシフィコ横浜	ライフデザインフェア出展(がん検診、脳トックの紹介等)

市民病院・脳血管医療センターの過去5年の収支推移



※平成17年度以降の「繰入金を除く経常収支」は地方公営企業法全部適用によって発生した本部費を除いています。

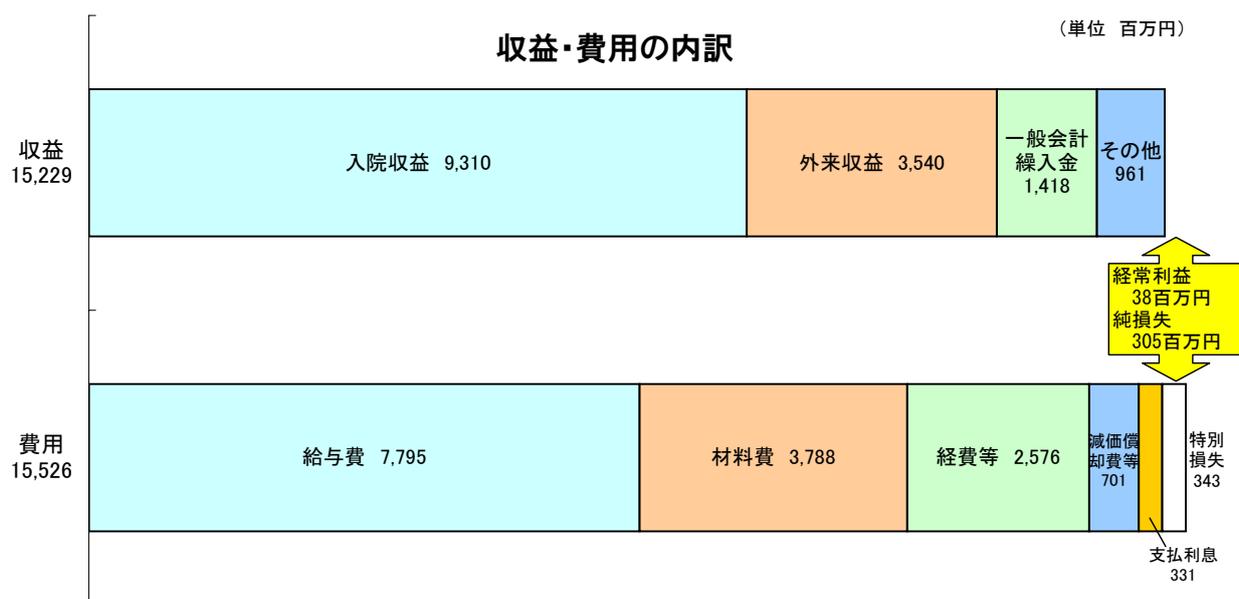
# 市民病院 収支の概要

(単位 百万円)

	19年度	18年度	差引	増△減	増減説明
<b>事業収益</b>	<b>15,229</b>	<b>14,833</b>	<b>396</b>	<b>2.7%</b>	
入院収益	9,310	8,932	378	4.2%	救急患者の受入や手術件数の増等により、診療単価の増が図られました。(⑱44,455円→⑲46,014円)
外来収益	3,540	3,423	117	3.4%	診療単価の増により収益が増加しています。(⑱10,455円→⑲10,995円)
一般会計繰入金	1,418	1,455	△37	△2.5%	
その他	961	1,023	△62	△6.1%	
<b>事業費用</b>	<b>15,534</b>	<b>14,892</b>	<b>642</b>	<b>4.3%</b>	
給与費	7,795	7,560	235	3.1%	非常勤嘱託職員の賃金等が増加しています。
材料費	3,788	3,601	187	5.2%	
経費等	2,576	2,601	△25	△1.0%	
減価償却費等	701	708	△7	△1.0%	
支払利息	331	351	△20	△5.7%	
特別損失	343	71	272	383.1%	緩和ケア病棟整備工事に向けた、旧看護師宿舎の解体工事等にかかる臨時的な損失を計上しています。
<b>経常収支 (特別損失を除く収支)</b>	<b>38</b>	<b>12</b>	<b>26</b>	<b>216.7%</b>	
<b>純損失</b>	<b>△305</b>	<b>△59</b>	<b>△246</b>	<b>416.9%</b>	

## 収益・費用の内訳

(単位 百万円)



# 脳血管医療センター 収支の概要

(単位 百万円)

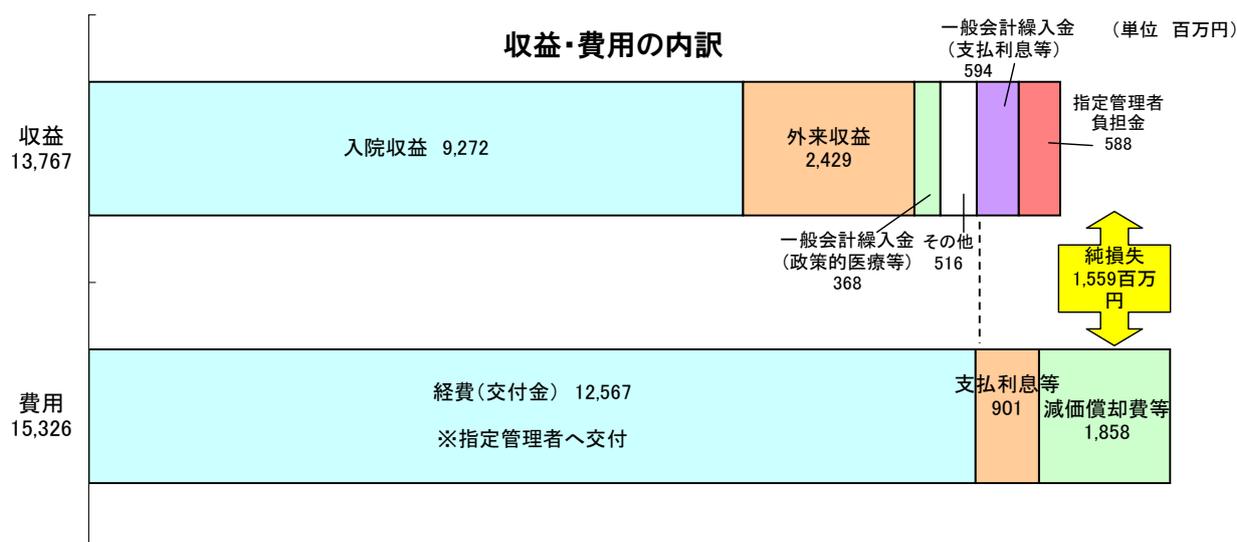
	19年度	18年度	差引	増△減	増減説明
<b>事業収益</b>	<b>5,870</b>	<b>5,480</b>	<b>390</b>	<b>7.1%</b>	
入院収益	2,704	2,276	428	18.8%	医師の確保を進め入院患者数が増加しました。 ⑱74,270人→⑲83,096人
外来収益	211	388	△177	△45.6%	院外処方の推進など患者1人あたりの診療単価が減少しています。 ⑱12,277円→⑲7,220円
一般会計繰入金	2,349	2,404	△55	△2.3%	
介護老人保健施設収益	391	297	94	31.6%	入所者、通所者の増により収益が増加しています。 指定管理者負担金として26百万円計上しています。
その他	215	115	100	87.0%	
<b>事業費用</b>	<b>7,155</b>	<b>6,765</b>	<b>390</b>	<b>5.8%</b>	
給与費	3,307	3,331	△24	△0.7%	介護老人保健施設への指定管理者制の導入により減少しましたが、 医師の確保による増加等があり、差し引き24百万円の減となりました。
材料費	418	489	△71	△14.5%	院外処方の推進等により、薬品費が減少しています。
経費等	1,361	1,221	140	11.5%	
減価償却費等	1,208	1,197	11	0.9%	
支払利息	496	519	△23	△4.4%	
介護老人保健施設費用	365	0	365	皆増	介護老人保健施設の事業収益相当分を交付金として支出しています。
特別損失	0	8	△8	△100.0%	
<b>経常収支 (特別損失を除く収支)</b>	<b>△1,285</b>	<b>△1,277</b>	<b>△8</b>	<b>△0.6%</b>	
<b>純損失</b>	<b>△1,285</b>	<b>△1,285</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	



# みなと赤十字病院 収支の概要

(単位 百万円)

	19年度	18年度	差引	増△減	説明
<b>事業収益</b>	<b>13,767</b>	<b>12,701</b>	<b>1,066</b>	<b>8.4%</b>	
入院収益	9,272	8,594	678	7.9%	入院患者数の増(⑱168,827人→⑲176,971人)、診療単価の増(⑱50,096円→⑲52,394円)に伴い収益が増加しています。
外来収益	2,429	2,335	94	4.0%	診療単価の増により収益が増加しています。 (⑱9,190円→⑲9,799円)
一般会計繰入金	962	1,297	△335	△25.8%	指定管理者負担金の徴収に伴い、縮減が図られました。
指定管理者負担金	588	0	588	皆増	全病床(634床)開床に伴い、19年度から徴収を開始しました。
その他	516	475	41	8.6%	
<b>事業費用</b>	<b>15,326</b>	<b>14,560</b>	<b>766</b>	<b>5.3%</b>	
経費(交付金)	12,567	11,794	773	6.6%	病院運営による診療報酬等の収入額と同額を指定管理者に交付します。
減価償却費等	1,858	1,856	2	0.1%	
支払利息等	901	910	△9	△1.0%	
<b>経常収支</b>	<b>△1,559</b>	<b>△1,859</b>	<b>300</b>	<b>16.1%</b>	
<b>純損失</b>	<b>△1,559</b>	<b>△1,859</b>	<b>300</b>	<b>16.1%</b>	



## 用語解説

### あ アレルギー専門医療機関

県が指定する専門医療機関で、「診療」分野では、学会等が作成した診療ガイドラインを活用した、アレルギー疾患患者への適切な対応と自己管理手法の指導を行う。また、「情報提供等」の分野では、地域での身近なかかりつけ医に対し、アレルギー疾患への適切な対応が図れるよう支援する。

### い 院内助産

妊産婦やその家族の意向を尊重しながら、院内の助産師が主体的にお産（外来健診、入院決定、分べん介助、産後1か月健診等）に関わる取組み。緊急時には医師が対応することができる。

### か 介護老人保健施設

介護保険法に基づき、入所して施設サービスが受けられる施設。介護保険の要介護認定で要介護1～5と認定された要介護者（要支援は除く）で、症状が維持期にあり、入院治療をする必要はないが、自宅で自立した生活をするには不安がある者、治療より看護や介護が必要な者などが対象であり、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理のもとでの介護及び機能訓練、その他必要な医療と日常生活上のケアなどを行い、自宅での自立した生活への復帰を目的としている。

### 回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患等の患者に対して、日常生活活動能力の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを医師、看護師、理学療法士、作業療法士等が共同して作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行うための病棟。

### 感染症病床

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する一類感染症（例：エボラ出血熱、ペスト等）、二類感染症（例：急性灰白髄炎、ジフテリア等）及び新感染症の患者を入院させるための病床。

### 緩和ケア

がん患者さんなどに対して、疼痛等の身体症状の緩和や精神症状に対するケアなどを行い、QOL（quality of life：生活の質）の向上を支援すること。

### こ 公立病院改革ガイドライン

19年12月に総務省が各自治体に対して、地域において真に必要な公立病院の持続可能な経営を目指すために示した通知で、20年度内に「公立病院改革プラン」の策定を求めている。策定するプランの内容は、①病院が果たすべき役割及び一般会計負担の考え方、②経営効率化、③経営形態の見直し、④再編・ネットワーク化など。

### せ 精神科救急医療

精神疾患の急激な発症や精神状態の憎悪などに対して早急に行われる医療をいう。自傷、他害の恐れがあるものと、恐れがないものがある。

### 精神科合併症医療

精神科病院の要請により、心筋梗塞、骨折等の身体合併症を発症した精神疾患を持つ患者さんを、一時的に受け入れて治療を行うもの。

### 精神科病床

病院の病床のうち、精神疾患を有する者を入院させるためのものをいう。

#### ち 地域医療支援病院

地域における医療の確保等のために、地域医療機関に対して必要な支援を行う病院で、紹介率や逆紹介率が一定の基準以上であることなど、指定要件のもとに診療報酬上の加算が認められている。

#### 地域連携パス（地域連携クリニカルパス）

急性期病院から回復期病院を経て、早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける医療機関で共有して用いるもの。医療連携体制に基づく地域完結型医療を具体的に実現するものである。

#### て 電子カルテ

従来の紙カルテで患者情報を管理するものではなく、データにより管理するシステムのこと。カルテの管理を紙による蓄積ではなく、コンピューターのデータベースにより行うため、検索性と医師の思考過程、診察過程の記録に優れており、医療の質向上、患者への情報の提供によるインフォームドコンセントの推進等に役立つ。

#### へ PET-CT（陽電子放射断層・X線コンピュータ断層複合撮影装置）

病巣部の機能を診断するPET装置と、病巣の正確な位置情報を検出するCT装置を組み合わせた医療機器で、2つの画像を一度に撮影でき、正確な診断が可能となる。

### ■ 会計用語の解説

#### い 一般会計繰入金

公営企業の収入をもって充てることが適度でない経費や、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費などについて、一般会計が負担するもの。

#### け 経常収支

通常の事業活動によって発生する収入・支出の差し引きであり、単年度の企業の経営成績を表す。

#### し 資金収支

単年度の事業活動における運転資金の過不足を表す収支。

#### 純損益

通常の事業活動によって発生する収入・支出の差し引きとして計算される経常損益に特別損益を加減した額。

#### と 特別損益

過年度の損益や臨時的な損益などの合計額。